

通貨ニュース(2016 年 3 月 30 日)

ブラジルリアル: 現実味を帯びてきたルセフ弾劾シナリオ

連立政権の最重要パートナーである民主運動党(PMDB)が政権離脱を決定

3月29日にPMDBは党会合を開催し、ルセフ大統領率いる連立政権からの離脱を決定した。背景には、13日に行われた反大統領を訴えるデモが360万人と、ルセフ第二次政権発足以降で最大人数となるなど、政府への逆風が一段と強まったことがあった模様だ。離脱の可能性については投票前から市場に織り込まれつつあったことや、ブラジル中銀がBRL高抑制姿勢を示していたことが影響し、BRLの値動きは限定的となったものの、ボベスパ指数は年初来高値を更新している。

国際為替部

マーケット・エコノミスト

佐々木 貴彦

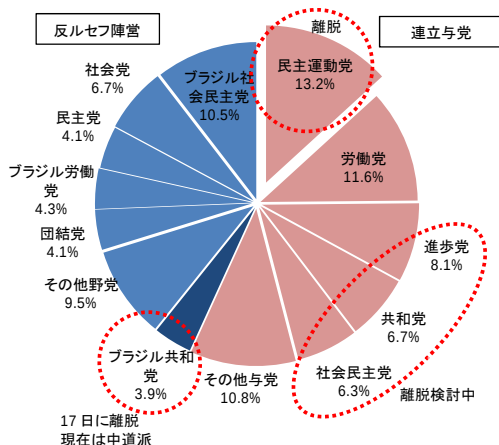
03-3242-7065

takahiko.sasaki@mizuho-bk.co.jp

実現困難とみられていた大統領弾劾の可能性が高まる

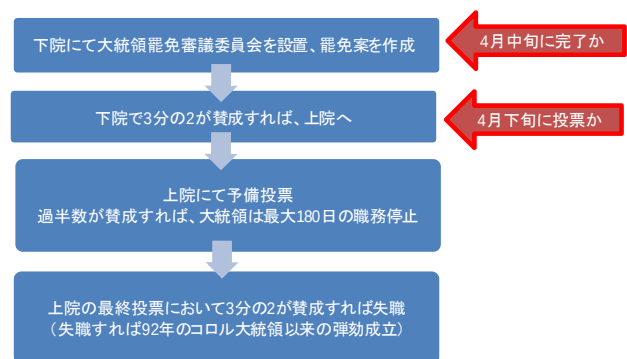
昨年より開始された大統領を罷免する弾劾手続きだが、当初は与党が下院議席数の約6割を占めていることもあり、罷免案を成立させるために必要な3分の2の賛成票を得ることは困難とみられていた。しかし、16日に少数ながらも連立政権を担っていたブラジル共和党(PRB)が連立離脱を決定。そして今回PMDBが離脱したことで、両党を含めて過半数を上回る賛成票が入る可能性が出てきた。それでも成立に必要な票数には届いていないものの、他の少数与党である進歩党(PP)、共和党(PR)、社会民主党(PSD)も連立離脱の検討を開始していると報道されており、賛成票が今後増える可能性がある。そのため、少数与党の動向及び野党勢力の結集が注目されよう。なお、下院に設置された大統領罷免審議委員会は4月中旬にも罷免案を作成し、下院に提出するとみられている。そのため、4月下旬には下院にてルセフ大統領を罷免するか否かの投票が行われると予想する。

図表1: ブラジル下院勢力図(各党の全議席に占める割合)



(資料) 各種報道、ブラジルみずほ銀行、みずほ銀行

図表2: ブラジル大統領弾劾手続きスケジュール



(資料) 各種報道、みずほ銀行

(注) 各スケジュール完了日処は筆者予想

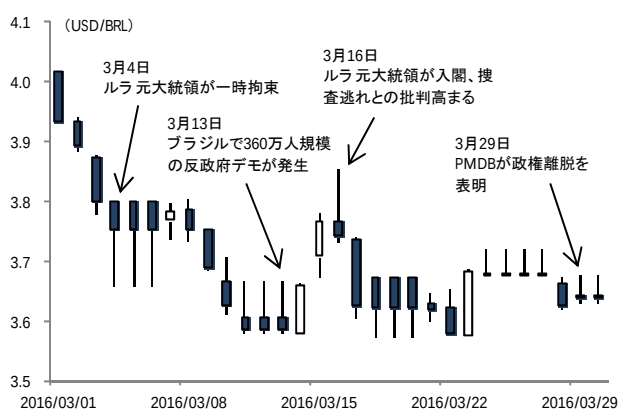
弾効の可能性が高まるにつれ、BRL は底堅さを増していくだろう

弾効の可能性が高まったことで、BRL 安圧力は後退すると予想する。仮に少数与党が政権離脱を表明すれば、BRL は底堅い展開になっていくだろう。3 月に入ってから BRL は、米金融政策もさることながら、政治情勢に一喜一憂する展開が続いている。4 日に現政権に大きな影響を与えているルラ元大統領が一時拘束されたとの報道を受け、BRL 高方向に推移。しかし、ルラ氏が入閣し捜査が遅れるとの懸念が高まると一転、BRL は売り込まれる展開となった。このような値動きからも、市場参加者が過去 20 年で最悪の景気後退を引き起こしたルセフ大統領の退陣を BRL 買い要因として捉えていることが窺える。但し、少数与党離脱も反ルセフ派が集結するかは不透明であり、政局を巡る報道に BRL がふられ、値動きが激しくなる可能性があることには留意したい。

BRL 安が止まれば経済情勢も好転する

なお、BRL 安の勢いが鈍ることは、ブラジル経済にとって大きな好材料だと考える。ブラジルは、BRL 安に伴う輸入物価上昇にも悩まされており、それだけに、BRL が安定推移となれば、インフレ率の減速にも寄与すると考える。また、ブラジル国債のうち約 2 割は非居住者が保有しており、BRL 安が進むと為替差損を押さえるべく債券を売るため、金利が上昇する展開となっていた。BRL 安が止まることで、国債にかかる売り圧力も後退し、各種国内金利も合わせて低下することが予想される。そうなれば、企業の調達金利低下にも繋がる。よって、今後の弾効手続きを巡る進展が、BRL 及びブラジル経済の命運を握ると言えよう。

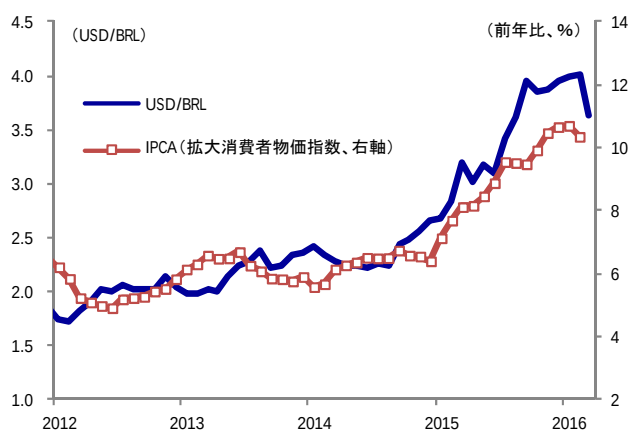
図表 3 : USD/BRL の直近値動き



(資料)筆者作成

(注)イベントは筆者追記、レートは 2016 年 3 月 30 日 9 時時点

図表 4 : USD/BRL と IPCA (拡大消費者物価指数)



(資料)ブルームバーグ、CEIC、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。